

様式第1号（第3条の2関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 16 日

岩手県知事 達増 拓也 様

提出者

住 所 岩手県一関市大東町摺沢字荒屋敷30-6

氏 名 青柳建設 株式会社
代表取締役 小林 正樹

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0191-75-3137

循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	青柳建設 株式会社
事業場の所在地	岩手県一関市大東町摺沢字荒屋敷30-6
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	元請完成工事高2億
③ 従業員数	30人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり



(A4)

※ この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所が対象です。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所ごとに1枚作成し、循環型地域社会の形成に関する条例施行規則第3条の2の基準に従って作成した産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

1. 会社の概要

(1) 会社名

青柳建設株式会社

(2) 資本金

2000 万円

(3) 従業員数

30 人

2. 事業の概要

(1) 元請完成工事高

20300 万円

(2) 産業廃棄物処理フロー図

別紙のとおり

(3) 連絡先

担当者：青柳建設株式会社

電話番号：0191-75-3137

3. 計画期間

令和 7 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日

4. 廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織

総括責任者	職・氏名 : 取締役副社長
廃棄物担当	職・氏名 : 土木部長
管理の基本方針	産業廃棄物の再生利用、減量化、適正管理を推進する
現場の管理体制	責任者 : 現場代理人
管理体制のフォロー	月に1度、土木部の会議を行い管理体制をチェックする

(2) 教育研修

事業場内啓発	会議において廃棄物の不適正な処理がないよう指示する
協力会社の教育等	工事の仕様書により廃棄物の処理、再生利用方法等を指示する

(3) 情報公開

廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、廃棄物の発生、分別、再生利用状況について情報の公開に努める。

5. 廃棄物の排出の抑制に関する事項

廃棄物処理計画の作成について	廃棄物処理法に則り、廃棄物の適正処理が行われるよう、量や業者の把握をするため、処理計画を作成している
現場への指示方法	計画作成前に打ち合わせ会議を行い所要の事項を指示・伝達する
進行管理	指示・伝達事項の進捗状況を報告させている

6. 廃棄物の分別に関する事項

現場保管方法	<ul style="list-style-type: none">・ 有用物と廃棄物の分別及び安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別して保管する・ 廃棄物の種類ごとに分別する・ 石綿含有産業廃棄物の分別・ 処理方法別（再生利用等）廃棄物の分別・ 処理困難物の分別
--------	---

7. 廃棄物の再生利用に関する事項

建り法の規定に基づき再資源化、場所及びそれに必要な費用等を説明し、再資源化を発注者に対し、理解と協力を求めている。

(産業廃棄物の種類: 全体)

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。

不要物等発生量

有償物量

数値は、
上段: 前年度実績値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	616.26	490.00
②+⑧自ら再生利用を行った量		
⑤自ら熱回収を行った量		
⑦自ら中間処理により減量した量		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
⑩全処理委託量	616.26	490.00
⑪優良認定処理業者への処理委託		
⑫再生利用業者への処理委託量		
⑬熱回収認定業者への処理委託量		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

自ら直接
再生利用する量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

自ら中間処理
する量

④

④のうち熱回収
を行う量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量

数値は、
上段:前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	553.87	483.00
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	553.87	483.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②		t
---	--	---

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③		t
---	--	---

自ら中間処理
する量

④		t
---	--	---

④のうち熱回収
を行う量

⑤		t
---	--	---

自ら中間処理した
後の残さ

⑥		t
---	--	---

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦		t
---	--	---

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧		t
---	--	---

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨		t
---	--	---

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩	553.87	t
	483.00	

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪		t
---	--	---

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭		t
---	--	---

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段:前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	14.92	t
	4.60	
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	14.92	t
	4.60	
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②

t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

t

自ら中間処理
する量

④

t

④のうち熱回収
を行う量

⑤

t

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

t

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

t

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

14.92

4.60

t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

t

(産業廃棄物の種類:

金属くず

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量

数値は、
上段:前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	1.18	t
	0.10	
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	1.18	t
	0.10	
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

自ら中間処理
する量

④

④のうち熱回収
を行う量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

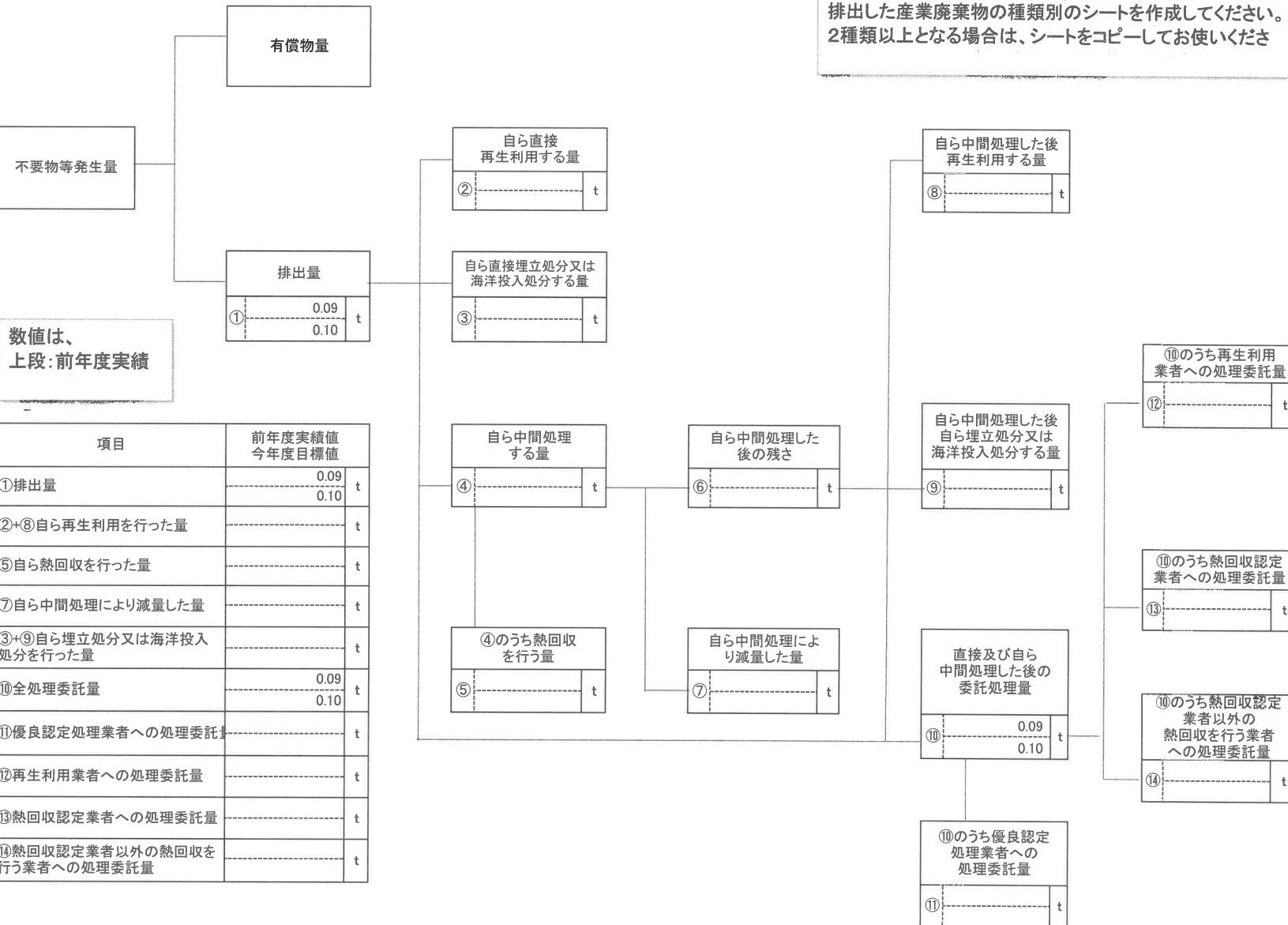
⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください



(産業廃棄物の種類: 紙くず)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 0.04 0.10 t

自ら直接再生利用する量

② t

自ら直接埋処分又は海洋投入処分する量

③ t

自ら中間処理する量

④ t

④のうち熱回収を行う量

⑤ t

自ら中間処理した後の残さ

⑥ t

自ら中間処理により減量した量

⑦ t

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧ t

自ら中間処理した後自ら埋処分又は海洋投入処分する量

⑨ t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩ 0.04 0.10 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ t

数値は、
上段: 前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	0.04	0.10
②+⑧自ら再生利用を行った量		
⑤自ら熱回収を行った量		
⑦自ら中間処理により減量した量		
③+⑨自ら埋処分又は海洋投入処分を行った量		
⑩全処理委託量	0.04	0.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量		
⑫再生利用業者への処理委託量		
⑬熱回収認定業者への処理委託量		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

不要物等発生量

有償物量

数値は、
上段:前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	39.69	t
	19.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	39.69	t
	19.00	
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②		t
---	--	---

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③		t
---	--	---

自ら中間処理
する量

④		t
---	--	---

④のうち熱回収
を行う量

⑤		t
---	--	---

自ら中間処理した
後の残さ

⑥		t
---	--	---

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦		t
---	--	---

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧		t
---	--	---

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨		t
---	--	---

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩	39.69	t
	19.00	

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪		t
---	--	---

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭		t
---	--	---

(産業廃棄物の種類:

(特管)廃石綿等

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量

数値は、
上段:前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	6.21	0.10
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	6.21	0.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②-----t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③-----t

自ら中間処理
する量

④-----t

④のうち熱回収
を行う量

⑤-----t

自ら中間処理した
後の残さ

⑥-----t

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦-----t

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧-----t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨-----t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩-----6.21
0.10t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪-----t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫-----t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬-----t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭-----t

(産業廃棄物の種類

それ以外

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量

数値は、
上段：前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	0.26	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.10	t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	0.26	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.10	t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②-----t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③-----t

自ら中間処理
する量

④-----t

④のうち熱回収
を行う量

⑤-----t

自ら中間処理した
後の残さ

⑥-----t

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦-----t

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧-----t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨-----t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩-----0.26
0.10t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪-----t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫-----t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬-----t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭-----t